



2026年5月13日

各 位

会 社 名 株式会社テクノマセマティカル
代表者名 代表取締役社長 田中 正文
(コード番号 3787 東証スタンダード)
問合せ先 取締役副社長 出口 眞規子
(TEL. 03-3492-3633)

2026年3月期 業績予想の修正および営業外収益（為替差益）の計上に関するお知らせ

決算集計状況を踏まえ、2026年2月10日に公表いたしました2026年3月期の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせします。

また、2026年3月期（2025年4月1日～2026年3月31日）において、営業外収益（為替差益）を計上する見込みとなりましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

2026年3月期（2025年4月1日～2026年3月31日）

(単位：百万円、円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	710	55	75	60	23.14
今回修正予想 (B)	685	44	106	85	33.16
増減高 (B - A)	△25	△11	31	25	—
増減率 (%)	△3.5%	△20.0%	41.3%	41.7%	—
(ご参考) 前期実績 (2025年3月期)	416	△286	△282	△285	△109.91

2. 修正の理由

売上高は、ライセンス事業におけるランニングロイヤルティが見込み額を下回ったことなどから、3.5%の計画未達となりました。一方、利益面は、営業外収益として投資有価証券売却益37百万円を第4四半期に計上したことに加え、為替差益11百万円の発生があったことなどにより、売上高の計画未達を吸収し、経常利益、当期純利益は計画値を大きく上回る利益の計上となりました。

なお、2027年3月期の予想につきましては、5月14日発表予定の2026年3月期決算短信でお知らせします。

3. 営業外収益（為替差益）の計上

当第4四半期会計期間において、外国為替相場の変動により、為替差益3百万円を計上することとなる見込みです。これは主に、当社が保有する外貨建資産の当第4四半期末時点での為替レートによる評価替えにより発生したものです。

この結果、2026年3月期（2025年4月1日～2026年3月31日）においては、合計で為替差益11百万円を営業外収益に計上することとなる見込みです。なお、この金額は、当社が保有する外貨建資産等の決済及び期末換算レートによる評価替により発生したものです。

以上

(注) 上記の見通しは、本資料作成日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、今後様々な要因によって記載内容と異なる可能性がありますので、当公表の内容に全面的に依拠して投資等の判断を行うことはお控えいただきますようお願い申し上げます。